

2025-26年度 加藤会長テーマ 一世のため、人のため

第3216回例会 令和8年5月26日(火) 天気:晴 No. 33



会長 / 加藤 典男 幹事 / 本多 淳

クラブ会報委員 谷崎直樹 / 羽佐田芳和 / 神谷明

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾コンベンションホール

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <https://www.nishio-rotary.org>

2025-2026 年度

RI テーマ

よいことの
ために
手を取りあおう

【本日のプログラム】

司 会 杉浦竜基例会運営委員長
プログラム 委員長総括

斉 唱 「奉仕の理想」
食 事 レストランさかえ



【会長挨拶】



イーロン・マスク氏が、2か月ほど前のインタビューで「これからAIの大きな波が来る」と話していました。これからの時代は、「知っているか知らないか」で大きな差が生まれるといわれています。今までは、「まだできない」と思っていたことが、次の日には実現していて、さらにその日のうちに古くなってしまふほど、変化のスピードが速くなるという話でした。

その中心にあるのが「AGI」と呼ばれる、人間のように考えられるAIです。現在のAIは、将棋や計算など特定の分野が得意なものが多いですが、AGIは複数の知識を組み合わせ、人間のように考えながら問題を解決できるようになると言われています。

さらに、テスラが開発しているロボット「オプティマス」にAGIが搭載されると、人間の何万倍もの知識や情報処理能力を持つ存在が生まれるとも言われています。人間は長年経験を積んで一流になりますが、AIは一度覚えた知識を瞬時に世界中へ共有できます。つまり、一流の医者や経営者の知識が、一気に広がる時代になるかもしれないということです。そうすると、ホワイトカラーの仕事は大きく変わり、経営戦略を考える仕事や、日常業務の最適化なども、AIが担うようになる可能性があります。弁護士や税理士、お医者さんなど、専門知識を必要とする仕事もAIの影響を受けると言われていました。一方で、配管工事や電気工事など、現場で体を動かす仕事は、まだAIだけでは難しいとも話されていました。

しかし、イーロン・マスク氏の予測通りになるとは限りません。以前、自動運転がすぐ普及すると言われていましたが、実際には法律や責任問題など、社会のルール整備に時間がかかっています。そのため、今回の話もすぐに実現するわけではないかもしれませんが、AIがさらに発展していくことは間違いないと言われています。

その中で大切なことは、常に「AIに使われる側ではなく、AIを使う側になること」です。AIを理解し、活用できる人が、これからの時代には必要になっていくのではないかと思います。

【委員会報告】

〈出席委員会〉 岩瀬 淳治委員長

本日の出席数 57名 欠席数 13名 出席率 81.43%

〈スマイルボックス委員会〉 辻村 敏晃委員長

加藤典男君 先週は弁当遅れ、大変申し訳ありませんでした。さて週末北海道、楽しみです。

本多 淳君 先週はいろいろご迷惑をおかけしました。本日、6/9とお話をいただく委員長のみなさま、よろしくお祈いします。

浅岡直幸君 本日、子供食堂の発表をします。宜しくお願い致します。

杉浦 広君 結婚記念日のお花、ありがとうございます。

杉田明弘君 無事帰国。人類5,000年の歴史を学んで来ました。

二宮英樹君 西尾市鋳物工業協同組合の第14代目の理事長に就任致しました。

【委員長総括】

【社会奉仕委員会 浅岡直幸委員長】



本年度、社会奉仕委員会では、西尾ロータリークラブ子ども食堂事業を実施しました。西尾市内には、満足に食事ができていない子どもたちがいるという現実があり、学校給食のない夏休み・冬休み・春休みに合わせて子ども食堂を開設しました。夏休みにはお弁当200食と支援物資の配布、クリスマスにはケーキやプレゼントの配布、春休みにもお弁当の配布を行い、多くの会員の皆様や企業の皆様から、お米や飲料、生活用品などたくさんのご寄付をいただきました。子どもたちからは「美味しかった」、保護者の方からは「とても助かりました」という声をいただき、本当にうれしく感じました。

一方で、本当に支援が必要な子どもたちに、まだ十分支援が届いていない現実も感じました。家庭環境や保護者の事情によって、子ども食堂に来ること自体が難しいケースもあります。そのような現状を知る中で、継続して支援を行うことの大切さを改めて感じました。また、多くの方々から継続的なご支援、ご協力をいただき、会員の皆様の意識の高さに大変感謝しています。「子どもたちは国の宝である」ということを、今回の事業を通して改めて実感しました。



【スマイルボックス委員会 辻村敏晃委員長】



本年度も会長・幹事をはじめ、多くの会員の皆様に毎回ご協力いただき、たくさんのスマイルを集めることができました。特に、新しく掲載された方や、表彰を受けられた方々からも多くのスマイルを頂戴し、大変ありがたく思っています。スマイルを読ませていただく中で、皆様のうれしい出来事や活動を共有できることを、私自身とても楽しみにしていました。

5月19日時点で、スマイル会費75万円、スマイルボックス129万7千円余、その他を合わせて、合計213万4千円余となりました。まだまだ皆様からスマイルをいただけることを期待していますので、引き続きご協力いただきたいと思います。

【プログラム委員会 杉田武男委員長】



本年度のプログラム委員会では、「勉強になる講師をお呼びする」という方針のもと、さまざまな講師の方をお招きし、例会運営を行ってまいりました。1年間委員会を運営させていただく中で、やはりクラブは「学びの機会を提供する場」であることが大切だと感じました。入会した時よりも少しでも成長し、視野が広がり、地域を見る目が変わっていく、そのような会員が増えていくことが理想的なクラブではないかと思っています。また、西尾ロータリークラブには地域を代表する経営者の方々や、各業界で活躍されている方々が多く在籍されています。そうした皆様が互いに学び合い、価値観を共有することで、クラブ全体の価値も高まっていくのではないかと感じました。会員数だけではなく、「会員の質の循環」が大切であり、学びのあるクラブだからこそ人が集まり、その魅力によってさらに良い循環が生まれていくのだと思います。西尾ロータリークラブが、居心地の良さだけではなく、成長できる場として今後も続いていくべきだと感じています。

〈新会員紹介〉

柴崎 忠義 君 S43. 11. 28生
三河淡水魚株式会社 代表取締役 職業分類: 水産卸売業
親睦活動委員会

